



特集2

地方創生に資する「地域情報化大賞」受賞優良事例

(「地域情報化大賞」特別賞 受賞)

えひめ結婚支援センター『愛結び』におけるビッグデータの活用 (一般社団法人愛媛県法人会連合会)

【事業概要】

一般社団法人愛媛県法人会連合会は、全国に90万社の法人会員、41都道県に441の単位会を擁する法人会の県連組織であり、県下に8単位会（会員企業およそ15,000社）を有し、商工業を中心に農林水産業やNPO、医療法人・社会福祉法人、各種組合や団体など多種多様な業態が加入し、「よき経営者をめざすものの団体」として、「めざします企業の繁栄と社会への貢献」をキャッチフレーズに、税の啓発活動を中心とした地域経済の振興や社会貢献活動など、社会経済の発展に資する事業活動を積極的に行ってています。

その中でも、県の少子化対策として受託しているえひめ結婚支援センターは、活動8年目を迎えた実績をあげており、いち早くシステム化に取り組み、かつ、ボランティアを活用したことが評価され、他県からの視察が年間22回を数えるなど多方面から注目を浴びています。

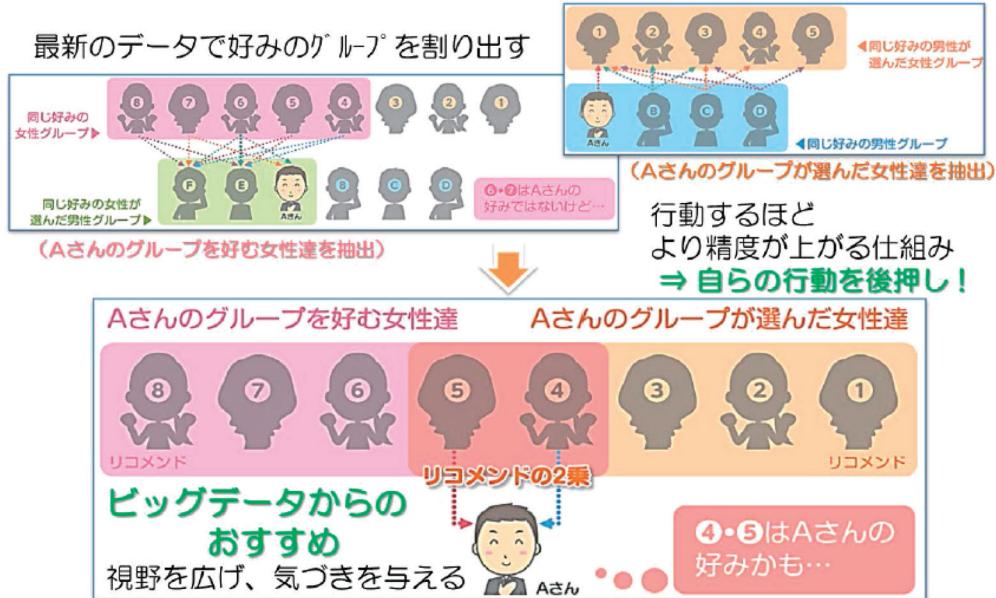
愛媛県における未婚化・晩婚化に対応するための少子化対策事業として、出会いの場を提供するえひめ結婚支援センターでは、他県に先駆け積極的にシステム化を進め、開設から7年でイベントとお見合い事業を合わせて登録者約13,000人、結婚報告600組（2016年1月現在でお申し出があった組数のみ）など実績を上げています。しかしながら婚活に踏み出せない・上手く活動できない独身者など、成婚に至らない独身者への支援が課題となっていました。

そこで、結婚支援システムに蓄積されたビッグデータを国立情報学研究所 宇野教授のアドバイスをもとに分析し、1対1のお見合い事業『愛結び』においては、独身者の行動データからおすすめ「リコメンド」を導き出す『ビッグデータからのおすすめ』機能をシステム構築しました。この機能はアンケートや条件ではなく、申し込みデータとそのお受けデータという行動データから、男女双方において好みの似たクラスタを割りだし、さらにその対象クラスタの交わり、つまり好みの人グループと好まれる人グループの交わりをおすすめする機能で、独身者自身の視野（条件）を広げる効果と共に、自ら行動することでより良いリコメンドが受けられるなどを周知して活動を活発化させ、独身者自身が自ら考え積極的に活動することを目的としたシステムです。

〔コラム〕

① サービスイメージやシステム構成

◆視野を広げて 自ら行動する仕組み



② 事業展開による効果・成果

愛媛県においても少子化の主たる要因である未婚化・晩婚化が進んでおり、その対策として平成20年11月に「えひめ結婚支援センター」を開設し、企業・団体やボランティア推進員等と連携しながら、結婚を希望する独身男女に「出会いの場」を提供し、地域を巻き込んだ結婚支援を進めてきたところですが、出会いの場の提供は整備されつつあるものの、婚活に踏み出せない独身者や上手く活動できない独身者など、成婚に至らない独身者への支援が課題となっていました。また、平成23年度に開発した結婚支援システムには、イベントとお見合い事業を合わせ登録者約13,000人分のプロフィールと行動履歴3年分150万件（お見合い実績4000回等）が蓄積されており、そのデータを活かすことができていませんでした。このため、ビッグデータの分析と活用を行い、独身者が自主的に婚活に取り組む意欲を高めるための機能を強化するとともに、カップル率を高め、結婚しやすい地域づくりに向けた一層の環境整備を図ることが課題でした。

これらの課題に対応して開発された1対1のお見合い事業『愛結び』における『ビッグデータからのおすすめ』機能は、『愛結び』におけるお見合い実施率が通常13%であるのに対し、29%に達し16ポイント高くなっています。特にこれまで申し込み自体を躊躇していた女性利用者にビッグデータからのおすすめ（リコメンド機能）が示されることにより、申し込みボタンを押しやすい状況を提供できることによる効果が大きいようです。これは、昔ながらのお見合い仲人的効果であり、このような効果がシステムという機械的な形から得られたことは大きな前進です。また、この機能は公的な結婚支援においてビッグデータの解析を活用する全国初の試みであったことから、マスコミからの取材が多数寄せられ、その広報効果もあり、運用開始した第一四半期の新規登録者は前年度対比136%の伸びを示し、登録者自



特集2

地方創生に資する「地域情報化大賞」受賞優良事例

体の活性化につながりました。また、他県のみでなく県内の地域においてもこのシステムを利用する動きが広がっており、宇和島市においては、市の予算にて事業用のベースや端末のみならず、専属の職員を配置するなど、地域との連携としての成果も上がっています。

③ 事業展開のポイント

独創性・先進性

公的な結婚支援においてビッグデータの解析を活用する全国初の試みであり、その注目度は高く、結婚支援に関する全国連携会議（内閣府主催）で先進事例に選ばれ発表を行いました。

平成26年度の県外からの視察は22件に上り、他県からの講演依頼も多数寄せられています。

また、条件に縛られがちなお見合い検索を、条件だけではなく自らの行動データを利用することで、昔ながらのお見合い仲人的「あなたの求めていた条件とは少し違うかもしれないけれどもこういった方もどうですか」といった条件以外の提示を行うことができ、視野を広げるきっかけとなり、独身者に気づきを与えることと行動を変える効果が、人ではなくシステムという機械的な形から得られたことは大きな前進となっています。

継続性

えひめ結婚支援センターは愛媛県の少子化対策事業として既に7年の実績があり、新機能追加により更に登録者数が増加しており、県の事業としての県民の要望に沿って、県の5ヵ年計画にも上がっています。

実施主体の愛媛県法人会連合会の会員である企業等からも高い評価を受けています。

更に県内市町からも連携の動きが活発化しており、また、現在の少子化の状況や未婚化・晩婚化の状況から鑑みてもこの事業を継続させる必要性があります。

横展開

愛結びシステムは公的な結婚支援事業において『愛媛県方式』と呼ばれ、既に高知県、富山県、山梨県が導入しており、さらに、模倣したシステムを導入している佐賀県、山口県、京都府、宮崎県や、その他の県からもビッグデータ活用について多数の問い合わせがあり、導入の希望が寄せられています。

全国の自治体でこのシステムの導入が進みデータが蓄積されれば地域の特徴や独身者の動向分析も可能になり、国や地方の有効な対策と戦略にも資することができるものと思われます。

効果的なICT利活用

元々の結婚支援システムのコンセプトが、「ICTを活用できるところは活用し、人の温かみを残す部分はボランティア力を結集する」であったため、クラウドを利用したシステムとなっており、インターネット上から予約を行い、センター来所時は会員自身がiPadを利用して登録・閲覧を行っており、更に申し込みは即座にお相手にメールにて連絡され、Web上の個々人のページにログインすることで確認できる仕組みとなっています。

ただ、公共性と安全安心の観点から、Web上の検索やお見合いは行っておらず、実際のお引き合はせは無償ボランティアが立ち会う中行われていますが、その日程調整等を行うメッセージも全てクラウド上でやり取りでき、ITC活用度は高くなっています。

今回はさらにそのICT活用で得たデータを利用したビッグデータ機能追加であり、さらに一步進んだICT活用となりました。

住民等との連携・協力

えひめ結婚支援センターは基となる結婚支援システムにおいて、応援企業・協賛企業と呼ばれる約1000社の企業に協力いただいており、更に、県内各市町の広報誌により募集した無償ボランティアが活動しています。

ボランティアは地域ごとにグループ化されており、県内8グループ200名以上が活動しています。

更に、今回の開発は、当法人会が松山市及び愛媛大学と連携している「e-まつやま最先端情報技術研究会」の縁で地元愛媛大学 河村講師の協力を得、更にその紹介により東京の国立情報学研究所 宇野教授、地元ソフト開発企業である愛媛電算とともにに行いました。

波及効果

公的な結婚支援においてビッグデータの解析を活用する全国初の試みであったことから、マスコミからの取材が多数寄せられ、地元紙の愛媛新聞や地元テレビ局のニュースだけに留まらずNHK『四国羅針盤』(20分)の特集や、同じくNHK『データなび』や日経新聞・読売新聞等でも全国版で大きく取り上げられるなどその広報効果は高く、「愛媛県の婚活は先進的」との評価を得ました。これらは、県内のみならず、四国まんなか交流協議会(四国中央市・観音寺市・三好市)や長崎県・宮崎県・岡山県からの講演依頼が立て続けに寄せられたことからも示されています。

また、少子化は労働人口や国内消費者の減少など地域経済にも直結する問題で、この機能により独身者のみならず企業や団体等の注目を浴びることで、少子化対策とその重要性が取り上げられた意義は大きいと感じています。

[サービス利用者の声]

成婚カップル

登録する前はシステムで探すお見合いなんて…と、思っていたのですが、今では本当に登録してよかったです。本当にぴったりの自分にあった人に出会える事ができました。結婚しようと思ったのは出会って半年も経たないうちでしたが、今までにない心の安らぎを感じたのでプロポーズしました。

二人とも、素敵な出逢いをくれたセンターには、とても感謝しています。ありがとうございました。

利用女性

「ビッグデータからのおすすめ」を見ると今まで見たことのない方が表示され、ビッグデータからだし…と思う自分がいて、申し込みボタンがとても押しやすく感じました。思いがけず交際に発展し、



特集2

地方創生に資する「地域情報化大賞」受賞優良事例

今まで身構えていたことがすんなりと進み、自分自身でも驚いています。

[今後の課題と展開]

「ビッグデータからのおすすめ」機能について、今後どれだけ有効にはたらいているかを検証して、次年度以降PDCAサイクルに乗せていきたいと思っており、より有効なモデルを確立し、全国に普及させていければと考えています。

また、ボランティアフォロー好事例集の語彙分析、ビッグデータとしての活用についても引き続き取り組み、様々なデータ分析を行うことで既成概念としてきたことを見直す試みも行いたいと考えています。

[導入費・維持費]

- ・導入費用 4,124千円（婚活力アップ事例の情報発信事業全体経費、職員人件費含まず）
- ・維持費用 0千円／年間(既存システムに組み込まれているため本機能における特別な維持費は不要)

[問い合わせ先]

- ・団体 一般社団法人 愛媛県法人会連合会
〒791-0216
愛媛県松山市大手町2-5-7 愛媛中小企業指導センター内
- ・担当部署名：えひめ結婚支援センター
- ・電話番号／FAX番号：089-933-5596／089-947-4251
- ・e-mail：office(at)msc-ehime.jp

※実際にメールを利用される場合には (at) を@に置換えてください。